

◆ 第2学年 音楽科学習指導案 ◆

「せんりつをつくってつなげて楽しもう」

教材 「ミニキーボードを使ったせんりつあそび」
「五音音階シートをつかった音楽づくり」
「夕やけこやけ（歌唱共通教材）」

東京都公立小学校

1 題材の目標

- (1) 音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが面白さなどに関わらせて気付き、反復や呼びかけとこたえを生かして、音楽をつくる技能を身に付ける。
- (2) 旋律や拍、反復や呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりを考え、音の組合せやつなげ方を工夫して、どのように音を音楽にするかについて思いをもつ。
- (3) 選んだ音で旋律をつくってつなげる学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組む。

2 題材について

(1) 児童の実態

今年度4月より担当している。とても無邪気で音楽が好きな児童が多く、表情豊かに全身で音楽表現を楽しむ児童が多数いる。一方で、活動の際には、繰り返しの声かけが必要な児童も一定数いる。

1学期に行った「せんりつあそび」の学習では、旋律の音の動きを考えながら、1人で数種類の旋律を試してつくることができた。また、常時活動を通して、拍ののってリズムリレーをしたり、言葉によるリズムをつくって重ねたりする活動の中で、「反復」や「呼びかけとこたえ」などの音楽の仕組みに着目できる児童も増えてきた。しかし、自分たちで音楽の仕組みを用いて音を音楽にしていく経験はまだない。

そこで、本題材ではこれまでに身に付けた知識や技能を生かしながら、3つの音を使って旋律をつくる力、それらを友達と協力して、つなげる順番を様々に試しながら、4小節の音楽にしていく力を身に付けることをねらいとする。

(2) 題材観

本題材は、ミニキーボードを使用して音楽づくりを行う。搭載されているリズムパターンに合わせて拍を打ったり、反復や呼びかけとこたえ等を条件として、即興的に友達と音で会話したりする常時活動を生かして、選んだ3つの音から友達と協働して音を音楽へとしていく題材である。旋律づくりでは、児童にとって身近な歌やポップスに使われているヨナ抜き音階（ドレミソラ）の音の中から3音を選んで使用する。

ドレミソラの音の中で、3つの隣り合う音の並びである「ドレミ」と「ソラド」の2種類を提示し、どちらかを選んで4拍の旋律をつくる。つくった旋律を友達と協働しながらつなげていくことで、自分の思いをもち、伝え合いながら音楽をつくる楽しさを味わわせていく。また、つくった旋律の発表では2年生になって学習した「夕やけこやけ（歌唱共通教材）」の間奏として取り入れる方法も行うことで、生活や社会の中にある音楽との関わりをもつことの有意義さや、楽しさを感じる素地を育めるようにする。

(3) 学習指導要領との関連

【A表現：音楽づくり】

(3) ア(イ)・イ(イ)・ウ(イ)

本題材において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素

ア ア 旋律、拍、フレーズ、

イ 反復 呼びかけとこたえ

3 教材について

●ミニキーボードをつかったせんりつあそび

CASIO ミニキーボード SA-51 に搭載されている内蔵リズムを流しながら、ペアで4拍ずつの即興的な旋律の呼びかけとこたえを行う。

速度は、♩ = 90~110 の中で、自分たちで選択しながら行い、ペアでの呼びかけとこたえをしたり、グループやクラス全体でリレーをしたりして、拍にのって、楽しみながら旋律遊びの学習につなげていけるようにする。

●「五音音階シート」をつかった音楽づくり

ミニキーボードにヨナ抜き音階の五音音階シートを嵌めて、旋律をつくる学習を行う。使用する音の高さにシールを貼って、どの音を使うのか分かるようにする。

○3つの音を使った4拍の旋律づくり

2種類の隣接する3つの音、**ドレミ**、**ソラド**を使い、まずは4拍の即興的に旋律をつくり、ペアで呼びかけとこたえを行う。旋律遊びに慣れてきたら、**ドレミ**、**ソラド**のどちらかを選び、4拍の旋律をつくる。

○協働してつくる4分の4拍子、4小節の旋律づくり

個々につくった旋律を3人一組でつなげて表現し、4小節の音楽をつくる。3人のうち1人の旋律を〈呼びかけとこたえ〉の呼びかけとして2回使い、協働して4小節の音楽をつくる。(ABACの形につなげる。)

●「夕やけこやけ」 中村雨紅作詞 草川信作曲

主旋律がヨナ抜き音階を用いて作曲されている。美しい夕やけや夜空を歌った曲である。児童にとっては、日常生活の中で夕やけを見た経験を生かして、その情景を思い浮かべながら歌いやすい内容となっているのに加え、本市では必ず夕方に鳴るチャイムとして、幼い頃から慣れ親しんでいる曲である。本題材では、1番と2番の間奏として、児童がつくった旋律を発表することで、生活や社会の中の音楽との関わりの豊かさを感じ取れるようにする。

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 与えられた音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さと関わらせて気付いている。(知)</p> <p>② 反復、呼びかけとこたえを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。(技)</p>	<p>① 旋律やフレーズ、反復や呼びかけとこたえを聴き取り、それらの関わりが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音やフレーズのつなげ方を工夫し、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもっている。</p>	<p>① 選んだ音で旋律をつくったりつなげたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組もうとしている。</p>

5 題材の指導計画と評価計画

4 時間扱い

時	○ 学習内容 ・ 学習活動	◇ 教師の働きかけ T「教師の発問や価値付け」	◆ 評価規準 (評価方法)
<第一次のねらい>ヨナ抜き音階の3つの音やフレーズのつなげ方の特徴について気付く。			
1	<p>○ 3つの音を使って旋律をつくり、つなげ方の特徴に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の旋律を模倣する。 ・ ドレミソラの音階でつくられている曲がたくさんあることを知る。 <p>・ ドレミソラの中の3音を用いて4拍の旋律をつくる。</p> <p>・ ペアでつくった旋律を呼びかけとこたえで演奏する。</p> <div style="text-align: center;"> </div>	<p>◇ キーボードを使い、拍にのって表現するようにする。</p> <p>◇ ドレだけ、ミソだけで旋律を模倣するようにしたり、2音→3音と発展させたりする。</p> <p>◇ ヨナ抜き音階のシートを付けたミニキーボードで、「ひのまる」、「ドラえもん(星野源)」のサビ部分等を教師が演奏し、実はドレミソラドでできている曲がたくさんあることに気付かせ、音階に親しみをもてるようにする。</p> <p>◇ ヨナ抜き音楽のシートを付けるようにする。</p> <p>◇ 始めはリズムを指定し、音階の音に親しむようにする。</p> <p>◇ 呼びかけとこたえは、教師や児童同士の模倣から始め、慣れてきたら〈こたえ〉は即興的な表現に変えていくことを伝える。</p> <p>◇ ドレミ、ソラドの2種類を順番に行う。</p> <p>◇ つなげ方を視覚的に捉えられるように図で示す。</p>	<p>◆ 知① (行動観察・発言・ワークシート)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体で、拍にのってリレーをする。 ・振り返りをポートフォリオに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇リズムパターンを用いて教師が示す。 ◇教師が拍を取り、全員でリレーができるようにする。 ◇2種類の中でどちらが気に入ったかを記入し、ペアで伝え合うように指示する。 	
<p>〈 Aと判断される児童の状況例 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドレミとミソラの3音を使って、音のつながりを意識しながら様々な音の動き方を試して、旋律づくりの面白さに気付いている。 <p>〈 Cと判断されそうな状況への手立て 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師との模倣を何度か繰り返し、自分で3音をつなげられるように導いていく。 			
2	<p>○音楽の仕組みを用いて4拍の旋律をつくる技能を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドレミ、ソラドのどちらかを選び4拍の旋律をつくる。 ・つくった旋律をペアで聴き合ったり、つなげたりする。 ・つくった旋律をペアでつなげる。 ・振り返りをポートフォリオに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ワークシートに記入するようになる。 ◇アイデアが出たら必ずキーボードで試すように伝える。 ◇拍にのって、つなげて演奏できるように助言する。 ◇つくった旋律の音のつなげ方の特徴や、面白さを共有できるようにする。 	
<p>〈 Aと判断される児童の状況例 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドレミとソラドの気に入った方の3音を使って、様々な旋律の動き方を試しながら、4拍の旋律をつくっている。 ・呼びかけとこたえで旋律を即興的にペアでつなぐ活動に、呼びかけ役とこたえ役を交代しながら、楽しんで取り組んでいる。 <p>〈 Cと判断されそうな状況への手立て 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律の動き方を一緒に確認しながら、3音の中で音のつながりを教師や友達と一緒に試していく。 			
<p>〈第二次のねらい〉呼びかけとこたえを用いて協働してつくった旋律をつなげて演奏し、楽しむ。</p>			

◆技②
 〈行動観察
 ・発言・ワークシート〉

<p>3 本 時</p>	<p>○前時につくった4拍の旋律をつなげ、どのように旋律をつなげるかについて思いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律をつなげてグループで4分の4拍子、4小節の音楽をつくる。 <p>・ワークシートにつなげ方と、その組合せの音のつながりの特徴を記録する。</p> <p>・中間発表をする。</p> <p>・発表を参考にして再度グループの音楽をつくる。</p> <p>・振り返りをポートフォリオに記入する。</p>	<p>◇前時のペアとは別の児童で3人1グループを組んでおく。</p> <p>◇3人グループのうち、一人の旋律を2回使い、4小節の旋律をつくるようにする。</p> <p>◇〈呼びかけ〉役を変えたり、〈こたえる〉順番を変えたりして、色々な組合せを試しながらつくることを伝える。</p> <p>◇音の組合せと、旋律の音の動きを簡単な図で記録できるようにする。</p> <p>◇つなげ方が生み出す表現のよさや面白さについて伝え合うようにする。</p> <p>◇試行錯誤しながらつくることで、フレーズのつなげ方や組合せ方のよさを感じ取れるようにする。</p> <p>★本時の〈Aと判断される児童の状況例〉と〈Cと判断されそうな状況への手立て〉は本時案参照</p>	<p>◆思・判・表 ① 〈行動観察・発言・ワークシート〉</p>
<p>4</p>	<p>○協働してつくった旋律を学級全体で共有し、旋律づくりの活動を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、教師の伴奏に合わせて拍にのりながら発表する。 ・友達の表現のよさを伝え合う。 <p>・後半のグループ発表では、「ゆうやけこやけ」の間奏として発表を行う。</p> <p>・題材を通しての振り返りを行う。</p> <p>・ポートフォリオに記入する。</p>	<p>◇グループの実態に合わせて、速度を変えて伴奏する。</p> <p>◇旋律の音のつながりの特徴や、友達の表現の面白さに気付けるように価値付けをする。</p> <p>◇旋律をつくることの楽しさや、友達つなげることの面白さに全体で気付けるようにする。</p> <p>◇既習した曲の間奏として入れることで、生活の中にある音楽との関わりを楽しめるように助言する。</p> <p>◇題材のはじめと同じ質問を投げかけ、どのように学びが深まったかに気付けるようにする。</p>	<p>◆態① 〈行動観察、発言内容、表現〉第1時から第4時を通して、継続して観察</p>
<p>〈Aと判断される児童の状況例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と組み合わせた音楽の面白さに気づき、楽しんで表現している。 ・他のグループの表現を楽しんで聴き、自分たちの音楽とちがう面白さを味わっている。 <p>〈Cと判断されそうな状況への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自力での発表が難しいグループは、書いた楽譜を指でなぞったり、拍をカウントしながら、どの部分を演奏しているのかわかるようにする。 			

6 本時の展開

3 時間目

(1) 本時のねらい

つくった4拍の旋律を、呼びかけとこたえを用いて協働してつなげ、どのように旋律をつなげるかについて思いをもつ。

(2) 本時の展開

○ 学習内容 ・ 学習活動	◇ 教師の働きかけ ◆ 評価規準〈評価方法〉
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> つくったせんりつを友だちとつなげて、グループの音楽をつくろう </div>	
<p>○前時につくった4拍の旋律をつなげ、どのように旋律をつなげるかについて思いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律をつなげてグループで4分の4拍子、4小節の音楽をつくる。 ・ワークシートにつなげ方を記録する。 ・中間発表をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【予想される児童の発言例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私がつくったせんりつは〈のぼりせんりつ〉だったけど、友達の〈くだりせんりつ〉とつなげて、山がたのせんりつになっておもしろかったよ。 ・呼びかけとこたえの間は4分休符があるとつなげやすいね。 ・〇さんと〇さんの呼びかけ役とこたえ役を変えてみたら、おもしろいせんりつになったよ。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を参考にして再度グループの音楽を見直し、演奏しながらつくり直したり確認したりする。 ・振り返りをポートフォリオに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇前時のペアとは別の児童で3人1グループを組んでおく。 ◇3人グループのうち、一人の旋律を2回使い、4小節の旋律をつくるようにする。 ◇〈呼びかけ〉役を変えたり、〈こたえる〉順番を変えたりして、色々な組合せを試しながらつなげることを伝える。 ◇音の組合せと、旋律の音の動きを簡単な図で記録できるようにする。 ◇試行錯誤しながらつくることで、フレーズをつなげ方や組合せ方のよさを感じ取れるようにする。 ◇つなげ方が生み出す表現のよさや面白さについて伝え合うようにする。 <p style="margin-top: 20px;">◆①思考・判断・表現（活動内容・発言・ワークシート）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇発表で聴いたことを生かしながら、グループで相談してつくることを助言する。 ◇友達と旋律をつなげたことによる面白さをクラ

ス全体で共有できるようにする。

◆①態度（(活動内容・発言・ポートフォリオ)

◆旋律やフレーズ，反復や呼びかけとこたえを聴き取り，それらの関わりが生み出すよさや面白さを感じ取りながら，フレーズのつなげ方を工夫し，どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。
思考・判断・表現①(活動内容・発言・ワークシート)

◆旋律をつなげる学習に興味をもち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協動的に音楽づくりの学習に取り組もうとしている。

主体的に学習に取り組む態度①(活動内容・発言・ポートフォリオ)

〈 Aと判断される児童の状況例 〉

- ・友達の旋律をよく聴き，どのような順番でつなげるとよいか提案し，様々な組合わせを試してつなげ方を工夫している。
- ・グループ内の友達と話し合い，つくった旋律の順を決め，協力して（グループの）旋律をつくっている。

〈 Cと判断されそうな状況への手立て 〉

- ・どのような順番で旋律をつなげればよいか分からないグループには，つなげ方を提案したり，一緒につなげ方を試したりして，支援する。

7 成果と課題

〈成果〉

- ・ミニキーボードの「使い方ルール」を徹底したことで，スムーズに授業に入ることができた。
(①先生が話すときは電源を OFF にする。②音色は変えない。③全体で弾く時のボリュームは半分の印，一人で発表するときには最大のボリュームにする。)
- ・リズムパターンを使って即興的な音遊びを日常的に行うことで，拍にのって演奏ができる児童が多くなった。
- ・歌いながら演奏することを習慣化することで，「歌いながらミニキーボードを弾く」ということが無理なくできるようになった。歌いながら発表することで，聴き手にとってもつくった旋律がどういう動きをしているのか，分かりやすくなった。
- ・旋律づくりでは「ドレミ」と「ソラド」の二種類から選んでつくるということにしたが，普段弾きなじみのある「ドレミ」よりも「ソラド」を選ぶ児童が8割程になってしまい偏りが生じた。余裕がある児童は2種類つくることができた。
- ・4拍の旋律をつくることで無理なく全員が活動に参加することができた。
- ・自分がつくった旋律を友達と反復したり，クラス全体でリレーをしたり，みんながつくった旋律を共有するということがとても嬉しそうで，学級全体で互いを高め合う雰囲気を作ることができた。
- ・ドで終わると終わった感じがするというのに気付くグループもあったので全体で共有することができた。
- ・既習した「夕やけこやけ」の間奏につくった旋律を入れるということで，2年生なりのヨナ抜き音階のよさを感じ取ることと，生活の中にある音楽と結び付けることで，より音楽の楽しさを味わうことができた。

〈課題〉

- ・旋律づくりのワークシート（※ワークシート1）が旋律の動きを意識しながら音を選択してつくれるものに改善するとよい。
- ・グループで旋律をつなげるときにはワークシート（※ワークシート2）を動かしながら確認できるようにしたが、音のつながりということよりも、組み替える行為の面白さの方が勝ってしまったグループも多くあった。
- ・ポर्टフォリオでの振り返りは学びの連続性を確認でき、前時の振り返りもできるので効果的な反面、書くことが難しい児童もいた。

8 ワークシートと児童の作品

・ワークシート1

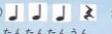
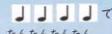
せんりつをつくってつなげて楽しもう

えらんだせんりつ
(どちらかに○をつける)

ドレミ

ソラド

おためしエリア メモ

4はくのせんりつをつくらう！
(つくりかた)
①ドレミ ソラドのどちらかの音でつくる(○をつける)
②  か、  でつくる。
 たんたんたんうん たんたんたんたん
③ひいてためずをたくさんくりかえして、おきにいりのせんりつをつくる。

できた4はくのせんりつ

ソラド

ドレミソラ
ソラドレミ
レドソラ
ドレミソラ

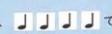
せんりつをつくってつなげて楽しもう

えらんだせんりつ
(どちらかに○をつける)

ドレミ

ソラド

おためしエリア メモ

4はくのせんりつをつくらう！
(つくりかた)
①ドレミ ソラドのどちらかの音でつくる(○をつける)
②  か、  でつくる。
 たんたんたんうん たんたんたんたん
③ひいてためずをたくさんくりかえして、おきにいりのせんりつをつくる。

できた4はくのせんりつ

ソラド

ソラドレミソラ
ソラドレミソラ
ソラドレミソラ
ソラドレミソラ
ソラドレミソラ
ソラドレミソラ
ソラドレミソラ
ソラドレミソラ

